

ささやま

市議会だより

第26号

平成17年10月21日発行



9月定例会

全日本社会人ホッケー大会
(西紀総合運動公園)

おもな
内容

可決した主な議案

市営駐車場を1部有料化に 2

市政を問う(一般質問)

2会派と9人の議員が質問 4

閉会中の委員会活動 11

陳情・要望を受けました 12 / まちなみ 12

第44回 定例会

第44回定例会を9月8日から9月29日の22日間の会期で開きました。会期中には、平成17年度補正予算、条例制定などの議案27件、承認案件2件について審議し、可決、承認しました。その他、平成16年度の決算認定14件については、各常任委員会に付託し、閉会中に審査することになりました。また、9月28日・29日の一般質問では、2会派の代表質問と9人の議員が個人質問を行いました。

可決した主な議案

篠山市営駐車場条例を制定（議案第76号）

市営駐車場を一部

有料化することに決定

本会議第1日に上程された「篠山市営駐車場条例の制定について」（議案76号）は、総務常任委員会に付託され審査を行い、第4日に総務常任委員長からの報告の後、採決の結果、賛成多数で可決しました。

特別委員会」の報告の中で、篠山城内下町に点在する市営駐車場について有料化を図ることを示してきました。

その内容は、一部の駐車場は、周辺の住民や一部の通勤者が恒常的に占有していることや、観光客や買い物客など一時利用者への利用がほとんど図られていない状況の中、厳しい市の財政状況を考えると駐車場の維持管理費の財源確保のため有料化が妥当であるというものでした。

市営駐車場を有料化

市営駐車場の有料化については、平成13年度に篠山市議会に設置した「公有財産有効活用調査

1回（1日）
200円
1カ月
1,000円
の駐車料

篠山市営駐車場条例では、「三の丸西駐車場（篠山中学校跡地）」「大手前

有料化される駐車場



「三の丸西駐車場」



「裁判所北駐車場」



「大手前展示館前駐車場」

展示館前駐車場（篠山郵便局南側）「裁判所北駐車場」の3箇所について有料化するものです。

駐車料は、一時駐車場で1日を超えない場合、普通車は1回200円、大型車は三の丸西駐車場に限り1回1,000円で、また、定期駐車の場合は、「三の丸西駐車場」

「裁判所北駐車場」に限り、1カ月1,000円です。

本会議での

反対、賛成討論

反対討論…「市営駐車場で有料と無料があるのはおかしい」「駐車料1,000円は安い。民間駐

車場の経営を圧迫することを懸念する」

賛成討論…「議会に設置した『公有財産有効活用調査特別委員会』の中で有料化を提言してきた経緯もあり、まずは有料化することを第一歩と考える」

平成17年度一般会計補正予算第5号

（議案第90号）

歳入歳出
6億8,175万
9千円の追加補正

主な事業

○大沢味間南線法面保護工事費
=4,700万円

○アスベスト使用状況調査（特別会計含）
=1,414万9千円

○篠山市展開催費
=238万1千円

可決した議案一覧

第1日 9月8日提出分

- 承認第6 専決処分の承認を求めることについて
専決第10号 平成17年度篠山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
専決第11号 平成17年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
専決第12号 平成17年度篠山市水道事業会計補正予算(第1号)

- 承認第7 専決処分の承認を求めることについて
専決第13号 平成17年度篠山市一般会計補正予算(第4号)

- 議案第75 篠山市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例制定について

- 議案第76 篠山市営駐車場条例制定について

- 議案第77 篠山市図書館条例等の一部を改正する条例制定について

- 議案第78 篠山市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について

- 議案第79 篠山市手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について

- 議案第80 篠山市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例制定について

- 議案第81 篠山市農業委員会の選挙による委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例制定について

- 議案第82 篠山市営改良住宅条例の一部を改正する条例制定について

- 議案第83 水防法及び土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について

- 議案第84 篠山市火災予防条例の一部を改正する条例制定について

- 議案第85 平成17年度篠山市農業共済事業に係る無事戻金の交付について

- 議案第86 市道の路線変更について

- 議案第87 市道の路線認定について

- 議案第88 兵庫県町議会議員公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更について

- 議案第89 兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更について

- 議案第90 平成17年度篠山市一般会計補正予算(第5号)

- 議案第91 平成17年度篠山市下水道事業特別会計補正予算(第2号)

- 議案第92 平成17年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

- 議案第93 平成17年度篠山市診療所特別会計補正予算(第1号)

- 議案第94 平成17年度篠山市観光施設事業特別会計補正予算(第1号)

- 議案第95 平成17年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

- 議案第96 平成17年度篠山市介護保険特別会計補正予算(第2号)

- 議案第97 平成17年度篠山市農業共済事業会計補正予算(第1号)

- 議案第98 平成17年度篠山市水道事業会計補正予算(第2号)

第2日 9月22日提出分

- 議案第99 市営福住本陣団地(仮称)建設工事請負契約について

第4日 9月29日提出分

- 議案第100 損害賠償の額を定めることについて

- 議案第101 平成17年度篠山市一般会計補正予算(第6号)



河川災害復旧工事（宮田川）

昔から人々は、川と深く結びついて生活してきた長い歴史をもっています。川に親しみ、川を愛護する篠山独自の「さ

1 復旧状況は、市の管理する河川では、69件が国の査定で承認されており、発生年度を含め3年以内で復旧させるのが原則であり、危機管理の意

3 兵庫県では、川づくりの基本的な考え方として、平成14年2月に兵庫県河川審議会から「ひょうご・人と自然の川づくり推進方策」について答

4 人々の川に対する関心も、自然や地域との交流、さらに川づくりを通して地域生活への試みへと広がっています。

1 災害復旧は進んだか
平成9年に「河川法」が改正され、治水、利水の他に河川環境の整備と保全が河川管理の目的に加えられ、流域住民の意見も反映させる仕組みがとられました。昨年の台風23号は、わが市にも

2 水位計の設置
日頃から、川の水位を橋げたで知ることや、川に親しみ、川の状態を知

4 親水施設の充実
川は時として、恐ろしい災害を引き起こす危険な場所ではあります。また、これが自然の力に

2 改修計画の
ない市の管理する普通河川に水位計を設置することとは、護岸の強度等をはじめとする河川の構造

市としては、今後も兵庫県の「川づくりに関する基本方針と理念」に基づきながら、安全で自然と調和した川づくりに取り組ま

篠山市の川づくり

市民クラブ21 市嶋 弘昭 議員



遠方せせらぎの川公園

企業対策部署の設置と 人口増行動計画の策定

青藍会 河南 克典 議員

問

青藍会では、合併7年目を迎えている篠山市の検証と、今後の篠山市の課題について、研修や勉強会等を通じて、議論を重ねてきました。

年をピークに本年8月には47,126人と、既に人口の減少に転じております。合併時に6万人構

て、企業課等の企業専任窓口を設置し、市内既存企業のニーズを的確に把握し、さまざまな問題に

とに敬意を表します。篠山市総合計画の後期基本計画の策定にあたり、将来人口についてその検証を進めて

る施策を組み合すことにより、その効果が出てくるものと考えます。市においても、今後、少子高齢化と過疎化現象を食い

従業員雇用・定着対策に関するアンケート集計
篠山市への定住に関するアンケート集計（従業員用）

若者定住アンケート

1 篠山市として
者定住のまちづくりをめざし、働く場所の確保や定住条件を中心

1 最初に青藍会の皆様には、積極的な行動と貴重な提言を頂きました。こ

2 人口増行動計画については、企業誘致等を中心に、各産業の後継者育成、少子化の問題や子育て

を再開してまいります。人口増に取り組み指針となるべきものを定めて、全部局横断的に共通認識をもつて、人口増加施策

1. 道路植樹帯の日常的な美化管理を 2. 兵庫国体をまちづくりに生かせ



ボランティアによる植樹帯の美化活動

問

1 道路植樹帯の美化管理の状況は、極めて不十分であります。これまでの対応に総点検を加え、いつも美しい道路環境を整えること。
2 のじぎく兵庫国体まで余すところ、1年とまりました。
① ホッケー競技の運営と安全対策について問います。
② 競技会場での多くの声

答 市長・教育長

1 今後は、道路植樹帯だけでなく河川、公園などの公共施設の環境美化について、クリーン作戦等の機会に地域住民の皆さま方にご協力を得られるような体制づくりに努めていきます。
2 ① プレイベントを振り返り、スムーズな運営や参加者の安全対策に十分な応援体制について問います。
③ 大会後も選手育成に努め、ホッケー会場を生かした若者によるまちづくりを進められたい。
② 阪神淡路大震災から復興し、飛躍を目ざし「ありがとう」心から「ひょうごから」をスローガンに、本市も体育協会、自治会などで構成する実行委員会を中心に、全国から参加される選手たちを歓迎する体制を取り、支援をしていきます。
③ ホッケー競技の開催を機に、若者がホッケーを中心としたスポーツを通じて、夢のある街づくりをしたいと考えます。

平成18年度の 予算編成について

問

1 平成18年度の予算編成の概要を、いづころ、どのようにして市民に知らせようとしているのか。
2 この4月に関係法令が施行されたこともあり、収入役を廃止してはどうか。
3 自治会長への委託料を30%減額する話があるが、市長、助役、収入役、教育長の特別職などの30%給料カットは考えておられないのか。

答 市長

1 平成18年度の予算編成作業は12月から2月中旬までかかりますので、公表は3月初めごろの予定です。

2 収入役業務は、市の根幹をなす重要な会計事務であります。収入役を廃止する条例を新たに制定し、収入役を廃止することは、私の政策課題の検討の対象外であると考えています。
3 自治会委託に係る委託料の協議と特別職の報酬額の検討を連動して検討すべきものとの認識はございません。改定の必要があると判断すれば、柔軟かつ速やかに報酬審議会に諮問し、適正な額に改定することについては、やぶさかでないものと考えています。



公営企業会計予算書

平成17年度予算書

兵庫県篠山市

篠山市の行革について

問

1 篠山市の行政改革は、「受益に対する負担の適正化」と称して過重な市民負担を前提としており、行政本来の責務を放棄するに等しい。本来的な行政サービスの在り方と行革の達成度を問います。
2 合併6年、背伸びしたハコモノ公共事業や国の三位一体改革、市税の落ち込みなどにより、市財政は破綻寸前です。市長の執行責任と責任ある財政計画を問います。

められる住民自治が一緒になって地方自治が成り立っています。そのためには、市民サービスを確保し、低下させないためには、まず市税をはじめとする自主財源で財源確保しながら健全財政を目指す必要があります。行革の認識も行政評価システム等により職員の間で共有されています。

答 市長

1 地方自治は国の下請けではなく、国から自立して行政をおこなう団体自治と、住民が地域の将来を自分たちの意思で決



市民の集う中央図書館

農政推進に 強力な農協との連携を

問

1 農協を事業別に3分割しようとする国の動きがあるが、農協組織と共に現状の総合農協維持に行動すべきではないか。
2 丹波茶の振興策として、農協が計画している茶工場の改築に、行政としての具体的な支援についての取り組みは。
3 堆肥センターの建設に向けた取り組みが進められているが、農協にお

答 市長

いても計画されています。連携をとって具体化するべきです。
1 本市にとりましても、これからの農業振興に支障をきたし、大きく後退させると考えますので、この改革に反対せざるを得ないと思っております。
2 地産地消、伝統的産物の観点から、栽培の現状と将来における製茶組合、栽培農家の展望を丹波ささやま農協等、関係機関と協議しながら丹波茶振興の具体策を検討していきます。
3 良質な完熟堆肥による「生きた土づくり」を基本に、市と農協により「篠山市堆肥センター基本計画（仮称）」の策定を行い、建設においても農協と連携しながら取り組みたいと考えます。



改築がまたれる味間茶工場

第2次行政改革と 財政見通しを問う

田中 悦造 議員



に、実行力の伴った信頼性のある「第4次長期財政計画」の策定を急ぐべきではないか。

答 市長

第2次行政改革大綱および実施計画の策定には、中期財政見通しの財政指標に基づき、縮減額を算定し、その数値を目標として実施計画に示して、行政改革を推進しているところだ。

つまり、中期財政見通しと第2次行政改革大綱は、双方ともに密接に連動しており、毎年の決算

と中期財政見通しを比較、検証して、ローリングを行うとともに、第2次行政改革大綱についても、見直しをしたいと思います。

本年3月に総務省から通知があった「新地方改革指針」に基づいて、平成17年度から21年度までの集中改革プランの策定が求められており、本プラン策定の中で、中期財政見通しの検証を行いながら、第2次行政改革大綱を基に本プランの策定をしたいと考えています。

問

平成17年3月に発表された「財政収支見直し」は、本市の危機的な財政状況を具現しているが、中には楽観的な予測数値があり、実態はもっと厳しいとの覚悟が必要だ。

市役所組織機構の抜本的な見直しによる人件費の削減、物件費や特別会計繰出金の徹底した抑制などの改革の断行、さら

1. 西部給食センターの建設に向けて 2. 災害時の情報通信施設について

藤本 忠男 議員

問

1 学校給食の地元野菜利用は各地で活発です。しかし年間を通じて量の確保、機械化のため農産物の規格統一の問題があります。西部給食センター建設に当たり、作付け計画と農家の組織作り・規格揃えと栽培技術の研修など、どう取り組むのか。

2 地域防災対策については、さまざまな問題点や検討しなければならぬことが数多くあります。初動体制では、何よりまず情報収集、通信の確保が重要であります。わが市でも災害時における情報通信施設の早期実現に向けた取り組みを決定する時が来たのではないのでしょうか。

答 教育長・市長

1 西紀地区に地元農家有志の方々の「西紀農業クラブ」がありますが、市全体での取り組みとなりますと大量で統一した規格で安定供給が出来る生産組織が必要です。今後、丹波ささやま農協が計画中のファーマーズマーケットの農産物生産組織と合わせて、学校給食への地元野菜の安定供給が図れるよう、農政課、丹波ささやま農協と引き続き協議していきたい。

2 新年度からは、新たな情報伝達手段として産物生産組織と合わせて、学校給食への地元野菜の安定供給が図れるよう、農政課、丹波ささやま農協と引き続き協議していきたい。



地元野菜を給食に

介護保険法改悪への 対応について

岡前 昌喜 議員



問

今回の介護保険法の改正は、国民には負担の押しつけ、国の財政負担は削減される改悪です。

1 軽度認定者の多くが「新予防給付」の対象とされ、従来の介護サービスが受けられなくなります。

2 各施設利用者の居住費・食費の全額自己負担は、大変な負担の増加です。

答 市長

3 低所得者の保険料、利用料などへの市独自の支援策が求められています。

4 介護保険財政の安定化のために国負担の引き上げを要求されるべきです。

1 軽度認定者が五割に達する中、軽度者の方の「できること」を増やすことで、生活機能の維持・向上をめざす観点から現行サービスの内容や提供方法の見直しがされます。

2 保険料の上昇を抑え、制度を持続させるには、給付の効率化・重点化が必要です。現行制度の在宅生活者と施設入所者の費用負担に不公平をなくすためです。

3 市独自施策として所得第二段階、世帯収入92万円以下の方で市民税課税者の被扶養でなく生活困窮の方に保険料の減免措置を行っています。

4 全国市長会を通じて介護保険財政の健全化のため、国の負担を25%から30%とするよう強く要望しています。

子育て応援プラン「元気な ささやまっ子愛プラン」について

岸本 厚美 議員

問

1 愛プランでは、さまざまな施設がありますが、子どもや子育ての目線で点検する子育てバリアフリーの視点が重要だ。一例として、公共施設のトイレにオム

ツ替えのベビーベッドや乳幼児いす（ベビーキープ）の設置が少ないことがあげられます。男性用トイレを含め、市役所本庁など子連れの方がよく利用される所には、少なくとも一箇所は設置、整

答 市長

1 公共施設でベビーキープ、ベビーベッドについて設置状況を点検しますと近年建設した篠山市民センター、中央図書館、四季の森生涯学習センターおよび丹南健康福祉センターに設置しており、第二庁舎も各階の女性用トイレに一箇所オムツ替えベッドを整備しています。

しかし、本庁舎については設置していないのが現状です。少子高齢化が進む中で子育て社会を支える環境づくりが必要であることは理解しており、早急に対処していきたいと考えています。



ベビーキープ（市民センター内）

谷 貴美子 議員

少子化対策を問う
1. 不妊治療の助成と相談窓口の設置を
2. 乳幼児医療の年齢拡大を
3. 性教育について



問

1 現在、不妊治療の助成は、県の事業として、一年度当たり上限10万円、通算3カ年を限度に支給されています。しかし、医療が個々によっても異なり、長期に及ぶケースもあることから5カ年に期間延長をされようとしています。そこで、相談窓口の設置や助成が必要であると考えます。

2 少子化の打開策の一

答 市長・教育長

3 教育現場でも踏み込んだ性教育や性感染症について教育すべきでないか。
つとして、就学前までの医療補助を小学6年まで拡大してはどうか。
経済的事情を考慮し、安心して子どもを生み育てる環境整備が必要であると考えます。この中で、医療補助対象を就学前から小学校就学後も助成の対象になるよう、国県に働きかけていきます。

1 窓口については、篠山健康福祉事務所申請などができます。助成については、今後の動向を見極め検討してまいります。
2 少子化問題が深刻化する中で、子育て世代の

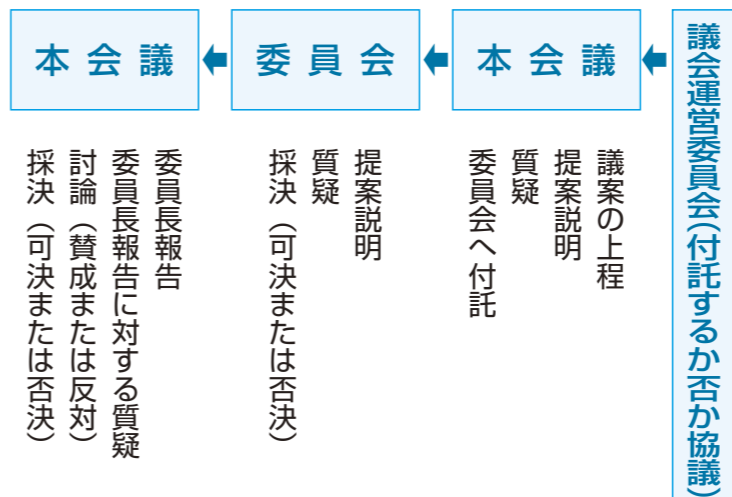
3 中学3年生では、「感染症の予防」、「異性の正しい理解と人格の尊重」、「性的な発達の適応」について学んでいます。学校、家庭、地域社会が一体となって啓発に努めていきます。

マメ知識

今回の定例会では、決算審査を各常任委員会に付託し、閉会中に審査することになりました。この度は、委員会付託について説明します。

議案等の委員会付託とは

本会議に上程された議案等のうち、特に、慎重に審査を進める必要があるような議案等については、提案者の説明、質疑の後、議長が本会議にはかり、所管の常任委員会に付託することができます。（委員会に付託するか否かは、事前の議会運営委員会と協議するようになっています。）



閉会中の委員会活動

決算審査

定例会の第2日（9月22日）に上程された「平成16年度の決算認定」に

ついては、総務、文教厚生、産業建設の各常任委員会に付託され、審査しています。その結果は、次の第45回定例会（12月定例会）で認定される予定です。

審査日程

総務常任委員会	10月18日（火）
	19日（水）
	20日（木）
文教厚生常任委員会	10月3日（月）
	4日（火）
	11日（火）
	12日（水）
産業建設常任委員会	10月24日（月）
	25日（火）
	26日（水）

所管事務調査

12月定例会が開催されるまでの期間、各常任委員会は次のことについて調査します。

総務常任委員会

- 1. 総合計画について
- 2. 行財政改革について

文教厚生常任委員会

- 1. 高齢者福祉について
- 2. 教育施設の駐車場確保について

産業建設常任委員会

- 1. 産業振興について
- 2. 水道事業について

議会運営委員会

- 1. 議会運営に関する事項について

決算認定【付託先】

- 認定第1 平成16年度篠山市一般会計歳入歳出決算認定について【各常任委員会】
- 認定第2 平成16年度篠山市住宅資金特別会計歳入歳出決算認定について【文教厚生】
- 認定第3 平成16年度篠山市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について【産業建設】
- 認定第4 平成16年度篠山市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について【産業建設】
- 認定第5 平成16年度篠山市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について【産業建設】
- 認定第6 平成16年度篠山市公営駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について【総務】
- 認定第7 平成16年度篠山市診療所特別会計歳入歳出決算認定について【文教厚生】
- 認定第8 平成16年度篠山市観光施設事業特別会計歳入歳出決算認定について【産業建設】
- 認定第9 平成16年度篠山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について【文教厚生】
- 認定第10 平成16年度篠山市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について【文教厚生】
- 認定第11 平成16年度篠山市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について【文教厚生】
- 認定第12 平成16年度篠山市ガス事業清算特別会計歳入歳出決算認定について【産業建設】
- 認定第13 平成16年度篠山市農業共済事業会計決算認定について【産業建設】
- 認定第14 平成16年度篠山市水道事業会計決算認定について【産業建設】



篠山市コミュニティバス「ハートラン」
10月3日から試験運行スタート

篠山市コミュニティバス「ハートラン（愛称）」が10月3日から試験運行を始まりました。公共交通が利用できない地域を中心に、地域の主要施設および既存の路線バス・鉄道駅へのアクセスを可能にした7つの運行ルートを設定し、2台のバスで、各ルートとも週2回程度運行します。大に利用しましょう。運賃 100円（均料金）※小学生は半額就学前児童は無料

陳情・要望を受けました

平成17年6月13日～9月26日受付分

- 丹南中学校の駐車場確保について
丹南中学校PTA会長ほか1名連署
- 砂防河川「浜谷川」改修工事について
東浜谷自治会長ほか5名連署
- 丹波杜氏酒造記念館の空調設備改修について
丹波杜氏組合長
- 市道井根口水谷線拡幅整備にかかる要望書
今田町辰巳自治会長ほか2名連署

第45回(12月)定例会日程(予定)

- 11月29日(火) 本会議(第1日)…決算認定、条例改正
- 12月6日(火) 本会議(第2日)…条例改正、補正予算
- 12月21日(水) 本会議(第3日)…一般質問
- 12月22日(木) 本会議(第4日)…一般質問、委員長報告など

◎いずれも午前9時30分の開会予定です。議場での傍聴をお待ちしております。

議会広報編集特別委員会

【視察報告】

期 日：平成17年7月27日・28日

視察先：愛知県日進市議会
愛知県大口町議会

目 的：議会広報の編集の仕方

日進市の議会だよりは写真を大きく扱い、視覚に訴えるものとなっていました。

また、大口町の議会だよりは、平成16年全国町村議会広報コンクールにおいて優秀賞を受賞されており、文字は少なく、見出しのつけ方にも工夫されていました。

今後、両議会の広報編集委員さんから頂いた数多くのアドバイスを取り入れ、皆さんに親しまれる市議会だよりをめざしていきます。



日進市での研修



- 委員長 市嶋 弘 昭
- 副委員長 森本 富 夫
- 委員 藤本 忠 男
- 委員 天野 史 朗
- 委員 植谷 貴美子 良 治

議会広報編集 特別委員会

まちなみ

スポーツの秋。食欲の秋。文化の秋。今年の篠山は、全部取り揃えて大満足の秋です。

国体のリハーサル大会としておこなわれた、全日本社会人ホッケー大会での迫力と感動は、来年の本番を大いに期待するものであり、ホッケーが篠山に根付いて欲しいものです。

秋の味覚の代表「丹波黒の枝豆」は、豊作であり市内各地の味覚まつりには多くの来場者を迎

え、作付け農家の皆様は大忙しの毎日、お疲れ様でした。

文化の面では、11月に初めての「篠山市展」が開催されます。短い準備期間ではありますが盛会を期待いたします。

どの秋も、盛り上がりには私たち市民の参加が必要と考えます。ソフトの時代を迎えた今、自分出来ることに積極的にご参加いただき、篠山市の魅力と一緒に盛り立ててください。(森本)



この広報紙はエコマーク認定の再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています